

令和 6 年 7 月 4 日

## ボランティア活動に関する熱中症警戒アラート及び 特別警戒アラートへの対応について（通知）

島根県立大学 浜田キャンパス  
地域連携推進委員会

気温が特に著しく高くなることにより、熱中症による人の健康に係る重大な被害が生じるおそれがある場合に備え、「熱中症警戒アラート（熱中症警戒情報）」「熱中症特別警戒アラート（熱中症特別警戒情報）」が環境省より発出されることになっています。

<https://www.gov-online.go.jp/useful/article/201206/2.html#firsSection>（政府広報オンライン）

学生のみなさんは、「猛暑も災害である」とお考えいただき、地域でのボランティア活動に際し、下記のように対応いただきますようお願いいたします。

### 記

- 1.警戒アラートもしくは特別警戒アラートが出された場合、別添の熱中症対策チェックリスト（サークル向け）を参考にして、適切な熱中症対策が取れていないときは、参加中止の検討をしてください。  
ボランティア活動を主催する場合は、開催中止の検討をしてください。
- 2.特別警戒アラートが発出された場合であっても、地域でのボランティア活動は可能ですが、主催団体等の指示のもと、適切な熱中症対策を取ってください。

以上

# 熱中症対策チェックリスト

島根県立大学 浜田キャンパス

## (1) 日頃の環境整備等

<input type="checkbox"/>	休業日明け等の体が暑さや運動等に慣れていない時期は熱中症事故のリスクが高いこと、気温30℃未満でも湿度等の条件により熱中症事故が発生し得ることを踏まえ、暑さになれるまでの順化期間を設ける等、暑熱順化（体を暑さに徐々に慣らすこと）を取り入れた無理のない活動計画とする
<input type="checkbox"/>	活動中やその前後に、適切な水分等の補給や休憩ができる環境を整える
<input type="checkbox"/>	熱中症発生時（疑いを含む）に速やかに対処できる体制を整備する
<input type="checkbox"/>	（重度の症状（意識障害やその疑い）があれば躊躇なく救急要請・全身冷却・AEDの使用も視野に入れる）
<input type="checkbox"/>	熱中症事故の発生リスクが高い活動の実施時期・活動内容の調整を検討する
<input type="checkbox"/>	各種行事、部活動の遠征など、普段と異なる活動を行う際には、事故防止の取組や緊急時の対応について事前に確認する
<input type="checkbox"/>	室内環境の向上を図るため、施設・設備の状況に応じて、日差しを遮る日よけの活用、風通しを良くする等の工夫を検討する
<input type="checkbox"/>	空調設備を適切に活用し、空調の整備状況に差がある場合には、活動する場所の空調設備の有無に合わせた活動内容を検討する

## (2) 参加者への指導等

<input type="checkbox"/>	特に運動時、その前後も含めてこまめに水分を補給し休憩をとるよう指導する（運動時以外も、暑い日はこまめな水分摂取・休憩に気を付けるようにする）
<input type="checkbox"/>	自分の体調に気を配り、不調が感じられる場合にはためらうことなく申し出るよう指導する
<input type="checkbox"/>	暑い日には帽子等により日差しを遮るとともに通気性・透湿性の良い服装を選ぶよう指導する
<input type="checkbox"/>	運動等を行った後は十分にクールダウンするなど、体調を整えたうえでその後の活動を行うよう指導する
<input type="checkbox"/>	運動の際には、気象情報を確認し、無理のない活動計画を立てるよう指導する
<input type="checkbox"/>	水分補給や休憩、体調管理の声をかけ合うよう指導する
<input type="checkbox"/>	サークルの遠征など、普段と異なる場所等で活動を行う際には、事故防止の取組や緊急時の対応について事前に共通認識を図る

## (3) 活動中・活動直後の留意点

<input type="checkbox"/>	暑さ指数等により活動の危険度を把握するとともに、体調の把握に努める
<input type="checkbox"/>	体調に違和感等がある際には申し出やすい環境づくりに留意する
<input type="checkbox"/>	熱中症発生時（疑いを含む）に速やかに対処できる指導体制とする
<input type="checkbox"/>	（重度の症状（意識障害やその疑い）があれば躊躇なく救急要請・全身冷却（全身に水をかけることも有効）・状況によりAEDの使用も視野に入れる）
<input type="checkbox"/>	状況に応じて活動計画を柔軟に変更する（運動強度の調節も考えられる）
<input type="checkbox"/>	運動を行った後は体が熱い状態となっているため、クールダウンしてから移動したり、次の活動を行うことに注意する